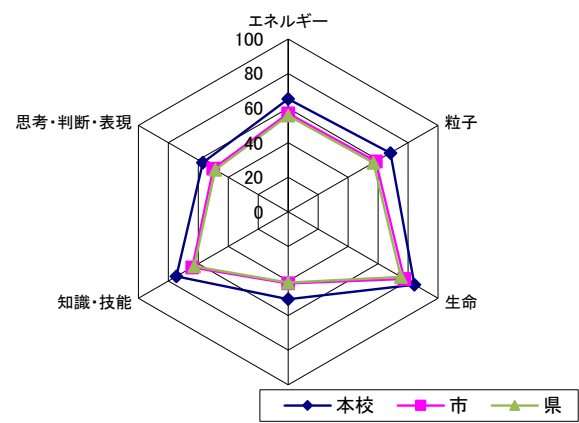


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	65.3	57.0	55.7
	粒子	68.2	58.6	56.9
	生命	84.3	77.5	75.2
	地球	50.5	41.4	40.9
観点	知識・技能	74.7	64.1	62.8
	思考・判断・表現	57.0	50.1	48.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○平均正答率は65.3%で県平均より9.6ポイント上回った。 ○音の速さを使って音源までの距離を問う問題では県平均を大きく上回っている。 ●鏡に映った像が見える点を結ぶという問いでは正答率が34.3%と低調であり、県正答率よりも2.9ポイント下回った。また、無回答率も県平均よりも1.8ポイント上回った。	・基本的な内容については県の平均を上回っていることからおおむね定着しているので、継続して重要語句の確認を行っていく。 ・光の進み方や、鏡の反射の道すじなどの作図問題に取り組めるよう、ワークの問題や課題を提示し取り組んでいく。
粒子	○平均正答率は68.2%で県平均より11.3ポイント上回った。 ○酸素であることをたしかめる方法を選ぶという問いでは県平均を大きく上回っている。 ●溶解度の問題では、県の平均は上回っているものの正答率が44.9%と低調である。	・基本的な内容については県の平均を上回っていることからおおむね定着しているので、継続して重要語句の確認を行っていくとともに、応用問題にも力を入れていく。 ・グラフを読み取って解く問題や計算問題の解く機会を増やし、解答の仕方を身につける。
生命	○平均正答率は84.3%で県平均より9.1ポイント上回った。 ○ゴボウの分類を選ぶ問題では、県平均を大きく上回った。 ●肉食動物と草食動物の頭部のつくりを問う問題では、県の平均は上回ったものの正答率が56.3%でやや低調である。	・基本的な内容については定着していると考えられる。今後も重要語句の確認を行っていく。 ・重要語句を覚えるだけでなく、語句の意味や関連性について考えさせながら学習を進めていく。
地球	○平均正答率は50.5%で県平均より9.6ポイント上回っている。 ●資料をもとに各地点の地層のつながりを推測できるか問う問題の正答率は33.2%と低調であり、県の平均よりも0.7ポイント下回った。 ●岩石や地層についての問題が県の平均は上回るものの低調である。	・重要語句を覚えられよう、ワークの問題や課題を出し定着を図る。 ・学習内容の連続性を意識して授業に取り組めるよう、既習内容と関連付けながら課題を提示していく。 ・資料の読み取り方を、ワークや課題を提示し取り組んでいく。